

来年度以降の取組について

令和5年3月10日（金）

令和5年度以降の取組

1. 情報発信・人材育成事業

- ①市ホームページの内容充実、日本遺産関連情報の随時発信
- ②日本遺産ガイダンスセンターの運営
- ③日本遺産巡回展示の実施
- ④日本遺産関連イベントへの参加
- ⑤市内で開催されるイベントでの日本遺産のPR
- ⑥日本遺産講座・足袋蔵アカデミー・足袋蔵コーディネーター養成講座等の開講

2. 普及啓発事業

- ①小中学校での郷土学習の充実
- ②足袋蔵検定の実施等を通じた普及啓発事業
- ③出前講座等を通じた普及啓発事業
- ④他の日本遺産認定自治体との連携
- ⑤日本遺産「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」構成資産ガイドブックの頒布
- ⑥日本遺産パンフレットの改訂・配布
- ⑦日本遺産構成資産カードの作成・配布やデジタル・スタンプラリー等の実施

3. 調査研究事業

- ①構成資産の詳細調査の実施
- ②構成資産の追加認定に係る調査の実施

4. 公開活用のための整備に係る事業

- ①旧忍町信用組合店舗の管理・活用
- ②旧荒井八郎商店事務所兼主屋・大広間棟・洋館の公開・活用推進
- ③体験型コンテンツの整備・観光商品化
- ④説明板へのQRコード設置とそれに連動した映像等解説コンテンツの作成
- ⑤構成資産活用イベント等の開催
- ⑥構成資産活用の支援

5. その他

文化財保存活用地域計画の作成

1. 情報発信・人材育成事業

①市ホームページの内容充実・日本遺産関連情報の随時発信

市ホームページの内容充実（構成資産の説明改善・多言語化・見やすさ改善等）
日本遺産関連情報を随時発信

②日本遺産ガイダンスセンターの運営

栗代蔵、足袋蔵まちづくりミュージアム2階に開設している日本遺産ガイダンスセンターを令和5年度までは運営する。

令和6年度以降のガイダンスセンターの機能をどうするかについて検討する。



日本遺産ガイダンスセンター

③日本遺産巡回展示の実施

引き続き令和5年度以降も、市内の小中学生に本市の日本遺産の認定ストーリーについて理解を深めてもらうために、市内小中学校等で本市の日本遺産に関するパネルの巡回展示を実施。



日本遺産巡回展示

1. 情報発信・人材育成事業

④日本遺産関連イベントへの参加

令和5年度以降も、日本遺産サミット、日本遺産の日記念イベント等日本遺産関連イベントに参加する。令和5年度日本遺産サミットは、東京都八王子市で令和5年11月4日～11月5日に開催予定。これにあわせて開催される日本遺産連盟令和5年度総会にも出席予定。



日本遺産サミットの様子

⑤市内で開催されるイベントでの日本遺産のPR

令和5年度以降も、蔵めぐりまちあるき、火祭り、時代まつり等市内で開催されるイベントで、日本遺産のPR展示、パンフレットの配布等を行う。

⑥日本遺産講座・足袋蔵アカデミー・足袋蔵コーディネーター養成講座等の開講

日本遺産講座、足袋蔵コーディネーター養成講座を再び実施し、日本遺産に対する理解を深めていただくとともに、その構成資産である足袋蔵の保存・活用に携われる人材の育成を行う予定。また、講座受講者の活動の場として、（仮称）足袋蔵コーディネーターの会を組織する予定。さらに足袋蔵活用に関する勉強会として（仮称）足袋蔵アカデミーの開催についても検討して行く。



足袋蔵コーディネーター養成講座の様子

2. 普及啓発事業

①小中学校での郷土学習の充実

市内の小中学校を対象に、マイ足袋づくり体験や、日本遺産巡回展示に合わせた日本遺産や行田足袋についての学習などの郷土学習を実施し、児童・生徒の日本遺産や行田足袋、さらには地域への理解、郷土愛や連帯感を育む。

②足袋検定の実施等を通じた普及啓発事業

郷土博物館で再び足袋検定を実施すると共に、博物館所蔵の構成資産を講座等で学習資料として活用し、行田足袋の歴史や日本遺産ストーリーの普及啓発を図る。また、郷土博物館の入館に際して足袋着用者に特典を設けるなど、足袋の着用を促進するキャンペーンを行う。

③出前講座等を通じた普及啓発事業

まちづくり出前講座、公民館の郷土史講座、進修館高校の行田学の授業等、様々な機会を捉えて、日本遺産についての講演を実施する。



日本遺産について学ぶ行田中学校生徒



日本遺産を学ぶ講座の様子

2. 普及啓発事業

④他の日本遺産認定自治体との連携

館林市、宇都宮市、桐生市、足利市など北関東地域の日本遺産認定自治体との連携を図り、令和6年度以降の連携事業の実施について検討する。

⑤日本遺産「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」構成資産ガイドブックの頒布

引き続き資産ガイドブックの頒布を通じた普及啓発に取り組む。

⑥日本遺産パンフレットの作成・配布

日本遺産のストーリー、全構成資産を紹介するパンフレットを改訂作成して配布し、普及啓発に取り組む。

⑦日本遺産構成資産カードの作成・配布やデジタル・スタンプラリー等の実施

日本遺産カードに準じて行田市の日本遺産構成資産のカードを作成・配布、デジタル・スタンプラリーの実施等、日本遺産の新たな普及啓発について検討する。

日本遺産
「和装文化の足元を支え続ける
足袋蔵のまち行田」
構成資産ガイドブック



行田市日本遺産推進協議会

構成資産ガイドブック

3. 調査研究事業

① 構成資産の詳細調査の実施

未調査の構成資産について、現況調査と実測図の作成を委託により実施して行く。

② 構成資産の追加認定に係る調査の実施

足袋蔵の可能性のある蔵や足袋商店関連の可能性のある歴史的建造物について、文献調査、聞き取り調査を随時実施し、構成資産にふさわしい文化財があるか精査を行い、追加認定の申請を行う。



構成資産の調査風景

4. 公開活用のための整備に係る事業

① 旧忍町信用組合店舗の管理・活用

「Vert Café」を営業して子育て世代の活躍の場として活用（9月まで）10月以降の新たな事業者等による利活用に向け、広く公募により事業提案を募集する予定。

「テアトルヴェール」を随時開催。



Vert Cafe

② 旧荒井八郎商店事務所兼主屋・大広間棟・洋館の公開・活用推進

公共的施設としての活用だけでなく、地域活性化のための民間企業等による利活用も含め、貴重な文化財としての価値を損なうことのない利活用を検討する。

③ 体験型コンテンツの整備・観光商品化

足袋づくり体験、藍染体験等現在ある体験型コンテンツの横展開やブラッシュ・アップを図ると共に、それら体験をパッケージ化して観光商品化することについて、検討を行う。



旧荒井八郎商店大広間棟

4. 公開活用のための整備に係る事業

④ 説明板へのQRコード設置とそれに連動した映像等解説コンテンツの作成

構成資産の説明板にQRコードを設置し、詳細な説明や昔の写真が見られたり、公開されていない内部の様子が映像で見学できるよう改善して行く。

⑤ 構成資産活用イベント等の開催

非公開の構成資産の公開に向けて、構成資産活用イベントや見学ツアーを積極的に実施して行く。

⑥ 構成資産活用の支援

非公開・未活用の構成資産の公開・活用について、適宜相談に応じ、活用に向けての様々な支援を行う。



日本遺産をめぐるツアー風景



活用に向けて整備中の行田窯

5. その他

文化財保存活用地域計画の作成

令和4～6年度に作成を行う「行田市文化財保存活用地域計画」の中に日本遺産を位置づけ、今後の保存活用の方向性を明確にする。



文化財保存活用地域計画ワークショップ風景